

| | | |
|---|---------------|-----|
| 科目名称： | 保育内容「表現B」の指導法 | |
| 担当者名： | 水上 和子 | |
| 区分 | 授業形態 | 単位数 |
| 専門教育科目 | 演習 | 1 |
| 授業の目的・テーマ | | |
| 子どもと適切に関わり音楽表現活動を展開するためには、保育者自身も豊かな感性や表現力を養うことが大切である。そのために必要な音楽の基礎知識や、表現を支える方法の修得と実践力の向上を目指す。 | | |
| 授業の達成目標・到達目標 | | |
| 子どもと音楽表現活動をする時には、興味や関心を持たせる工夫をすること、学生自身が音楽を楽しんでいると感じることを学ぶ。 | | |

| 幼児教育学科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
|--------|---|------|
| DP(1) | 建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。 | |
| DP(2) | 優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。 | |
| DP(3) | 幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。 | ○ |
| DP(4) | 学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。 | |

| 評価方法/ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ 小テスト | 提出課題 (レポート含む) | その他 | 合計 |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| 幼児教育DP(1) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP(2) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP(3) | | | 60 | 40 | 100 |
| 幼児教育DP(4) | | | | | 0 |
| | | | | | 100 |

| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） | |
|--------------|--------------------------|----------------|
| あり | 《内容1》 金城大学附属西南幼稚園園長代理 | 《経験年数1》 3年間 |
| | 《内容2》 金城大学附属西南幼稚園 園長 | 《経験年数2》 2年間 |
| | 《内容3》 | 《経験年数3》 |
| | 《内容4》 | 《経験年数4》 |
| 備考 | | |
| | | |

| 評価ルーブリック | すばらしい | とてもよい | よい | 要努力 |
|----------|------------------------------------|------------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 受講態度 | 意欲的、自発的でありとても熱心である。 | 指導をうけた事を吸収しようとする。 | アドバイスをすると前向きにとらえる事ができる。 | 欠席をしないようにし、受講態度の改善を必要とする。 |
| 表現意欲 | 保育現場で必要とされる知識や技能を高め、即実践できる力量がみられる。 | 保育現場で必要とされる知識や技能を高める努力がみられる。 | やや積極的である。 | 積極的になるように努力を要する。 |
| | | | | |
| | | | | |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間(分) |
|--------------------------------------|----------------------------------|-------------|
| 第1回 領域「表現」について | 指針や教育要領における感性と表現について復習してくる事。 | 40分 |
| 第2回 歌うことの意義と発声について | 器楽Ⅰ・Ⅱの弾き歌い曲を練習してくる事。 | 30分 |
| 第3回 歌う活動を中心とした表現活動の体験①(興味、関心を持たせるには) | 器楽Ⅰ・Ⅱの弾き歌い曲を練習してくる事。 | 60分 |
| 第4回 歌う活動を中心とした表現活動の体験②(手遊びを中心に) | 手遊び習得の課題プリントをしてくる事。 | 30分 |
| 第5回 手遊びの実践(グループワーク) | 手遊び実践の課題プリントをまとめてくる事。 | 30分 |
| 第6回 動く活動を中心とした表現活動の体験 | 器楽Ⅰ・Ⅱのピアノ曲(マーチ、ラン、スキップ)を練習してくる事。 | 60分 |
| 第7回 歌う活動、動く活動を中心とした表現活動の体験 | 動く活動の課題プリントをまとめてくる事。 | 30分 |
| 第8回 聞く活動と演奏活動を中心とした表現活動の体験 | ドレミパイプについて調べる事。 | 30分 |
| 第9回 非常勤講師による簡易楽器を用いた表現活動 | 簡易楽器の種類を調べる事。 | 30分 |
| 第10回 非常勤講師による簡易楽器を用いた表現活動 | 簡易楽器の演奏方法を調べる事。 | 60分 |
| 第11回 わらべ歌遊びの意義と体験 | 2音旋律、3音旋律を調べる事 | 60分 |
| 第12回 わらべ歌遊びの意義と体験 | 2音旋律、3音旋律を調べる事 | 60分 |
| 第13回 歌遊び①(グループで指導案を作成し教材研究を深める) | 歌遊びに使う曲を練習し、学生同士で実践してみる事 | 60分 |
| 第14回 歌遊び①(グループで指導案を作成し教材研究を深める) | 歌遊びに使う曲を練習し、学生同士で実践してみる事 | 60分 |
| 第15回 まとめ(総合表現演習に向けて表現活動について考える) | 2年生の総合表現演習を見学しレポート提出すること | 60分 |

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、課題曲の練習や課題プリント、小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
課題評価(60%)、準備学習[弾き歌い伴奏練習](20%)、授業への積極的関与(20%)

課題に対してのフィードバック

授業内プリントは自己評価をした後提出し、学習成果をコメントシートでフィードバックする。また、小レポートについても学習コメントシートでフィードバックする。

教科書・参考書

テキスト「表現者を育てるための保育内容「音楽表現」(石井玲子 編著、教育情報出版)器楽Ⅰ・Ⅱテキスト
参考書・参考資料等
「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」適宜資料を配付